

もりおか医報人

2018
Summer
Vol.26



CONTENTS

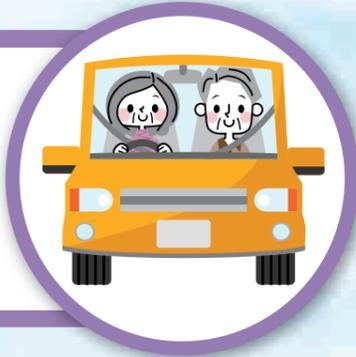
- 高齢者の自動車運転と運転免許の自主返納制度 P2
- エッセイ愛宕山 P5
- 在宅医療の現場から P6
- あなたの夢 育てませんか P8

2歳まではテレビを消しましょう！

子どもの健全育成のために

高齢者の自動車運転と 運転免許の自主返納制度

盛岡市医師会 認知症対策委員会委員長 金子 博純



75歳以上のドライバーへの認知機能検査を強化した改正道路交通法が昨年3月に施行されてから1年が経ちました。

改正以前から75歳以上のドライバーは、運転免許証の更新時に認知機能検査を受ける必要がありました。検査結果では「認知症の恐れあり」「認知機能低下のおそれあり」「認知機能低下のおそれなし」の3つに分けられ、その結果に応じて高齢者講習を受講し免許証の更新が可能となるルールでしたが、改正後は「認知症のおそれ」と判定された場合は違反の有無にかかわらず、医師の診断を受けることが義務づけられ、医師の診断の結果、認知症である診断されると免許取り消しか停止の対象となることになりました。

また、運転免許証の更新時だけでなく「認知機能が低下した場合に行われやすい一定の違反行為(18基準行為)」があった場合にも、「臨時認知機能検査」を受けることになりました。この検査で「認知症のおそれあり」と診断された人は、臨時適性検査もしくは医師の診断を受けることになり、この際に認知症が判明したときや、医師の診断書を提出したい、認知機能検査を受けない場合には、免許証の取り消し、停止が行われることとなります。

認知機能が低下した場合に行われやすい一定の違反行為(18基準行為)

- 信号無視、通行禁止違反、通行区分違反、横断等禁止違反、進路変更禁止違反
- しゃ断踏切立入り等、交差点右左折方法違反、指定通行区分違反、環状交差点左折等方法違反、
- 優先道路通行車妨害等、交差点優先車妨害、環状交差点通行車妨害等、
- 横断歩道等における横断歩行者等妨害等、横断歩道のない交差点における横断歩行者等妨害等、
- 徐行場所違反、指定場所一時不停止等、合図不履行、安全運転義務違反

さらに、臨時認知機能検査で、検査結果が前回の更新時よりも低下していた場合、運転免許証を保有し続けなければ、「臨時高齢者講習」を受けなければなりません。この講習を受けない人も運転免許証の取消し、停止の対象となります。

上記のような法改正が必要になった第一の要因は、75歳以上のドライバーによる死亡事故が年々増えていることにあります。「平成28年中の交通死亡事故の発生状況及び道路交通法違反取締り状況等について

(警察庁発表)」によると、死亡事故の件数自体は年々減少しているにもかかわらず、75歳以上のドライバーによる死亡事故件数は横ばいであり、相対的に75歳以上のドライバーによる死亡事故の割合が増えていることが明らかになっています。さらに調べると、2007年の全死亡事故に占める75歳以上のドライバーによる死亡事故の割合は8.2%でしたが、10年後の2016年には13.5%まで増大しており、高齢社会の進行に従って、その傾向は今後さらに加速していくことが予想されていることです。

また、重要なポイントとして75歳以上のドライバーが起こす死亡事故と認知機能の低下に関連性があると考えられていることがあります。警察庁の調べ(2015年)によると、死亡事故を起こした75歳以上のドライバー(認知機能検査受検済み)の約半数の49.4%が、認知機能検査で「認知症のおそれ」「認知機能低下のおそれ」に分類されていたのです。

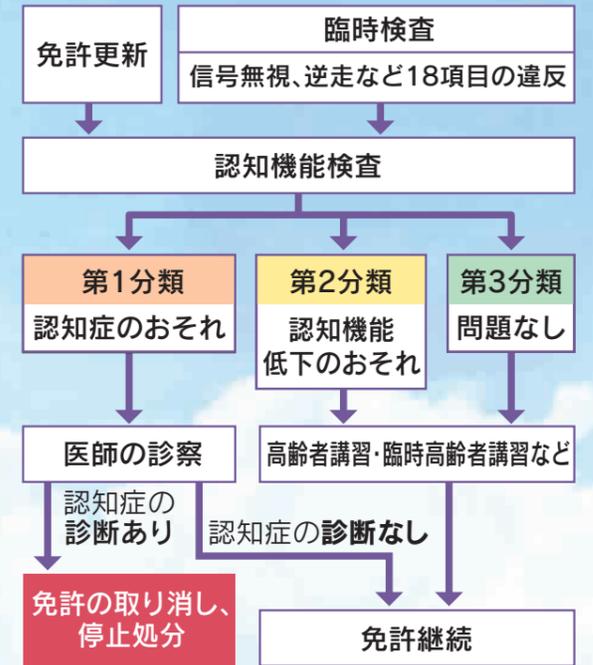
認知機能の低下が重大な事故につながっている例をいくつか挙げてみたいと思います。

1つは「ペダルの踏み間違い」による事故があります。公益財団法人交通事故総合分析センターの調べ(交通事故分析レポートNo.107)によると、ペダルの踏み間違いによる事故は75歳以上の高齢運転者で高く、他の年齢層の2~5倍の割合となっていることが明らかになっています。またペダルの踏み間違いにより死亡事故を起こした運転者の割合を年齢層別にみると、約4割(39.6%)が75歳以上の高齢運転者という結果になっています。

もう1つは「高速道路の逆走」が挙げられます。国土交通省と東日本高速道路株など6社の合同による調査分析(高速道路における逆走の発生状況と今後の対策その3)によると、2011年~2015年9月までに、高速道路会社管内の高速道路での逆走事案は916件発生し、そのうち約7割(68%)が65歳以上のドライバーによるものとわかりました。

身体機能や認知機能が低下に直面するのは誰もが避けられないことです。また自動車運転は、生活の足としてだけでなく、「楽しみ」や「自立した生活」など、移動手段以外の意味を見出している方が多いということも忘れてはいけません。しかし、ご自身や家族が交通事故の加害者にならないためにも、若い時とは違うリスクを抱えながら運転していることを認識して、より安全な運転を心がけることが大切です。

認知機能検査の主な流れ



■運転免許証の自主返納制度

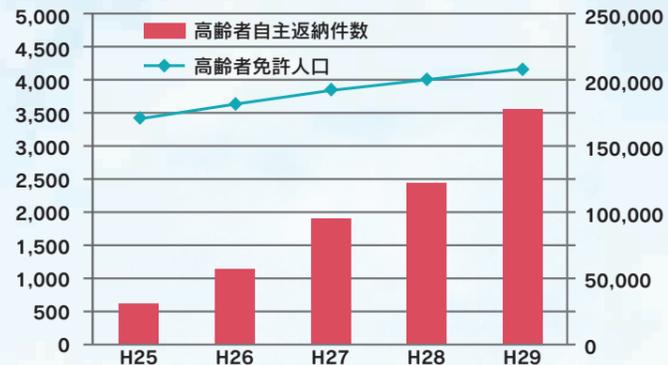
加齢や病気などで身体の機能や判断能力が低下し、「運転に不安を感じている」又は「運転の必要がなくなった」などの理由で自動車等を運転されない方は、本人の申請により運転免許証を返納できる「自主返納制度」というものがあります。

運転免許証を返納された方は、返納した警察署などで申請により「運転経歴証明書」の交付を受けることができます。平成24年4月1日以降に発行された運転経歴証明書は、身分証明書として長い間利用することができます。

運転免許証を自主返納するには、運転免許センター(盛岡・県南・沿岸・県北)、自動車運転免許試験場、警察署(盛岡東・盛岡西・岩手・紫波・花巻・北上・水沢・江刺・一関・千厩・大船渡・遠野・宮古・岩泉・二戸)で申請の手続きができます。

■高齢運転者免許証自主返納の状況

岩手県の高齢者の免許人口は年々増加傾向にあります。昨年の法改正により、運転免許証の自主返納件数も増加しており、平成29年の自主返納件数は3,589件と、平成28年の2,451件から大幅に増えており、平成25年の612件と比較すると約6倍に増加しました。



	H25	H26	H27	H28	H29
高齢者自主返納件数	612	1,148	1,896	2,451	3,589
高齢者免許人口	171,669	183,485	193,070	201,324	209,483

■運転免許証を返納した方への支援

運転に自信のなくなった、または運転する機会の少なくなった高齢者の方が、運転免許証を自主返納しやすい環境づくりのため、県内の市町村ではさまざまな支援策を設けています。

■盛岡市の支援

盛岡市では、高齢ドライバーによる事故防止の一環として、65歳以上の方が運転免許証を自主的に返納し、岩手県公安委員会が発行する運転経歴証明書を取得した場合に、申請によりMORIO-J加盟店での買い物に利用できるポイントを付与する「高齢者運転免許証自主返納支援事業」を実施しています。運転経歴証明書を盛岡市役所の窓口(くらしの安全課、都南総合支所、玉山総合支所)で提示すると、MORIO-Jカードを持っている人には500ポイント、持っていない人にはカード(300円)と200ポイントが贈られます。1ポイントは1円相当で、約200の加盟店で使用することができます。※但し平成28年8月1日以降に運転免許証を自主的に返納した方に限ります。



エッセイ 愛宕山 ある帰郷

essay atagoyama

Vol.22

盛岡市医師会 谷藤泰寛

いっつかこの欄に登場願った方のことであるが、一人暮らしの60代半ばの女性、新聞の字が読めなくなってきたと言うのがいつもの訴えであるが、別に変わったところもないので、いつもの通りの返事をしていて、なかなか席を立ててくれない。県南の方言を交えた、文章にならない単語の羅列で言葉を紡ぐのが通常で、意味の理解に少し馴れを必要とするが、訴えている内容に無視できない社会現象が含まれていることもある。最近のことと言って、診療の合間に話してくれたのは大凡次のような内容であった。県南部の実家に久しぶりに帰ってきたという。兄の子供の自衛隊上がりの甥が56歳の若さで、しかも警備員としての仕事の最中に亡くなったのだという。縁者や自衛隊時代の同僚や上官も多数参列し

て、盛大な葬儀だったと言って、甥さんの立派な院号の戒名も見せてくれた。問題は、その母親と思しき人は認知症がかなり進んでいるらしい。息子の死を完全には理解出来ていないようで、通常不規則な帰宅の彼のために食事を用意しておくのが何時もの習慣で、その日も食事がしつらえてあったという。母親の心根を可哀想に思っか、彼女は勿論冷たくなっていた味噌汁やご飯を亡くなった息子に代わって、猫飯のようにして食べてきたと言って涙ぐんだ。今後は実家にも帰ることが無いように思うと言って席を立てた。その1か月後、彼女はいつもの陽気な雰囲気で見られ、「先生も元気出して、もっとちゃんと診てくれや」といって例の1本のオロナミンCをまたも頂戴した。

在宅医療
連携拠点事業所
「チームもりおか」発

2

在宅医療の現場から

～患者さんとその家族を支える道しるべ～

団塊の世代が後期高齢者へと移行し、在宅医療が必要な人が2025年には29万人に達すると推計されています。このことを「2025年問題」と言います。高齢化が急速に進むことに伴い、通院が困難な患者さんが増え、在宅医療へのニーズが高まると予想されています。

在宅医療は、外来通院医療、入院医療に次ぐ「第三の医療」とも言われています。今後ますます増加・多様化すると考えられることから、在宅医療を担う病院、診療所、薬局、訪問看護ステーション、福祉関係者などがそれぞれの役割や機能を分担し、ネットワーク化することで、在宅医療を推進していくことが求められています。

では、実際に在宅医療の現場はどのようなものでしょうか。そして私たちの先々の生活に、どう影響してくるのでしょうか。実際の在宅医療の現場にお邪魔して、お話を聞いてみました。

◆家族のちから

盛岡市にお住まいの吉田眞一さん(69歳)は、現役時代は福祉施設職員で、県内各地の施設で働いた経験をお持ちです。現在は、奥さんの瞳さん(58歳)と次男の章さん(33歳)の3人で暮らしています。

◆病気への気づき

眞一さんを病魔が襲ったのは今から14年前、大船渡市に単身赴任していた時でした。瞳さんが、眞一さんの異変にいち早く気づきました。

「夫の様子を見に行った時、夫がふらふら歩いているように見えたんです。でも、本人はふらついていることに全く気づいていないようで、おかしいなと思ったのが最初です。」

◆診断結果と退職まで

眞一さんは、やがてふらつきを自覚するようになり、なんでもない所で転ぶことも多くなったため、病院を受診しました。診断の結果、多系統萎縮症という難病であることが分かりましたが、職場の理解もあり、病気が分かった後も眞一さんは1年ほど仕事を続けました。

多系統萎縮症

脳の進行性の病気で、全国に約13,000人の患者さんがいます。症状は、ふらつき、ろれつがまわらない、手足のもつれや震えが現れ、徐々に手足や体幹が動かなくなり、声も出せなくなります。無呼吸発作や突然の呼吸停止などをきたすことがあります。

◆在宅療養生活

57歳で退職した眞一さんは、自宅が大好きでご家族と一緒に暮らすことを望みました。瞳さんは眞一さんの願いを受け入れ、自宅で眞一さんを見ることを子どもたちに伝えました。次男の章さんは、「母から、父を自宅で看ると言われましたが、当初はどういうことなのか、ピンときませんでした」と話します。

2006年から始まった眞一さんの在宅療養生活ですが、7年間は病院への通院をなんとか続けました。しかし、病気が進行し身体が奪われてくると、通院に難儀するようになってきたため、2013年8月から訪問診療に切り替えることにしました。

眞一さんは現在、声帯が麻痺していて、お話をすることはできません。日中は痰の吸引が必要です。6年前には、悩んだ末に胃ろうを造設しています。

利用しているサービスは、①訪問診療、②訪問看護、③訪問リハビリテーション、④訪問入浴、⑤訪問薬局の5つです。

一昨年くらいまでは、2、3か月に一度肺炎を起こし、その都度、入院はせず自宅で治療を受け治してきましたが、最近は発熱も少なくなり、安定した在宅生活を送っています。

◆介護生活の息抜きとこれからの夢

13年目を迎える在宅介護について、日々のストレスをどのように解消しているのか、お聞きしました。

「サービスに入ってくれる人と話すことがストレス解消かな。在宅介護は、痰の吸引や体位交換など、自分たちでもやらなくてはならないことがあって疲れる日もありますが、話を聞いてもらうことでスッキリします」と瞳さん。

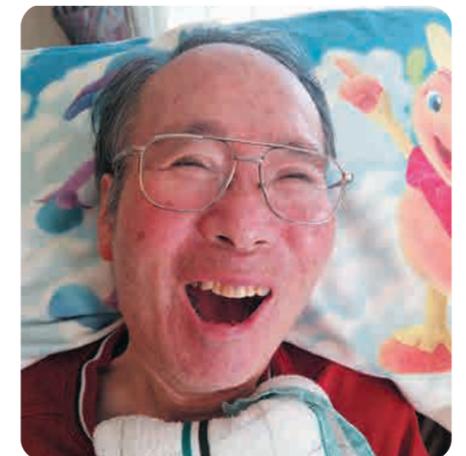
「僕は働きながらの介護ですが、特にストレスは感じたことはありません。もしかして仕事がストレス解消になっているのかもしれないね」と笑顔の章さん。

続いて、これからの夢についてお聞きすると、お二人はしばらく考えたあとに答えてくれました。「私は、家族みんなでカナダのオーロラか、フランスのモンサンミッシェルを見に行きたいです。夫が病気になる前、『退職したら家族旅行』と決めていたんですよ」と瞳さん。章さんは、「できる限り、父を外に連れ出したいです。子どもの頃、父がいろんなところへ僕らを連れて行ってくれたように」と話します。

◆終わりに

眞一さんの在宅療養生活が始まる時にはピンとこなかった、と述懐した章さんですが、現在は、心身ともにご両親の大きな支えとなっています。瞳さんは次のようなお話もしてくれました。「実は一時期、夫の母親の介護と夫の介護が重なって、私がヘトヘトに疲れてしまったことがあるんです。その時、章が何も言わずに背中をさすってくれました。あの時の嬉しさは今でも忘れられません」。

眞一さんが、ご自宅や外出先で時折見せる満面の笑みが、在宅療養の全てを表しているように思います。



自宅で笑顔を見せる眞一さん

※ご家族のご希望により、実名及び写真加工無しの掲載といたしました。

盛岡高等看護学院・盛岡准看護学院からのお知らせ

あなたの夢 育てませんか

盛岡高等看護学院・盛岡准看護学院 平成31年度入学生募集



■ 平成31年度入学生 入試情報 ■

盛岡准看護学院

- 募集人数 50名
- 修業年限 2年
- 受験資格 詳細はお問合せ下さい
- 願書受付期間 平成30年12月3日(月)～12月21日(金)当日消印有効
- 試験科目
 - 一般入試 ①学科試験：国語、数学、英語 ②人物考査：面接
 - 社会人入試 ①一般常識問題 ②小論文 ③人物考査：面接
- 試験日 平成31年1月19日(土) 会場：本学院 ● 合格発表 平成31年1月28日(土)

盛岡高等看護学院

- 募集人数 30名
- 修業年限 3年
- 受験資格 詳細はお問合せ下さい
- 願書受付期間
 - 推薦入試 平成30年11月12日(月)～20日(火)当日消印有効
 - 一般入試 平成30年12月3日(月)～21日(金)当日消印有効
- 試験科目
 - 推薦入試 ● 記述試験：看護学・小論文 ● 面接 ● 一般入試 ● 学科試験：国語・看護学 ● 面接
- 試験日
 - 推薦入試 平成30年12月1日(土) 会場：本学院 ● 一般入試 平成31年1月12日(土) 会場：本学院
- 合格発表 平成31年1月19日(土)

盛岡市医師会附属 盛岡高等看護学院・盛岡准看護学院 〒020-0013 盛岡市愛宕町18-6
 TEL 019(652)5491 TEL 019(622)5872

広報部よりひとこと

車は生活に欠かせない移動手段です。車がなければ買物や病院に行けない地域で暮らす方にとって、自主返納は大きな決断が必要となります。返納した方への行政の支援も整いつつある中、大きな事故を起こす前にと、「家族や周囲の気遣い」と「運転者本人の自覚」で運転のリスクを減らしていきたいものです。

●ご意見・お問い合わせ

一般社団法人 盛岡市医師会

〒020-0013 岩手県盛岡市愛宕町18番6号
 TEL 019-625-5311 / FAX 019-651-9822
 Eメール ishi01@morioka-med.or.jp
 URL <http://www.morioka-med.or.jp>

この印刷物は色覚異常の方に配慮して、配色しております。